

九州181号（平成27年度新規）

1. 来歴

- 1) 系統名 九州181号
（旧系統名：九系320）
- 2) 交配組合せ
九州162号(母) × 九系04136-16(父)
2009年交配、2010年以降、選抜および育成
- 3) 用途 焼酎・でん粉原料用

2. 特性の概要

- 1) いもの形状は短紡錘形で、皮色は橙、肉色は淡黄白、条溝は微、裂開、皮脈は無、イモの外観はやや上である。
- 2) 上いも重は、標準栽培でコガネセンガン比121%、長期栽培で136%、切干歩合、でん粉歩留りはコガネセンガンよりやや高く、でん粉収量は標準栽培でコガネセンガン比139%、長期栽培で147%である。
- 3) サツマイモネコブセンチュウに強く、ミナミネグサレセンチュウにやや強い。
- 4) 萌芽性、貯蔵性ともに、コガネセンガンよりも優れる。
- 5) 蒸しイモの肉色は淡黄白、粉質で繊維が多く、食味はやや下、香りは中である。

表1 生産力検定試験における九州181号、コガネセンガン、シロユタカ、ダイチノユメ、サツママサリの試験成績

系統名	つる重 (kg/a)	上いも重 (kg/a)	同標準比 (%)	切干歩合 (%)	切干重 (kg/a)	同標準比 (%)	でん粉歩留り (%)	でん粉重 (kg/a)	同標準比 (%)	上いも率 (%)	上いも1個重 (g)	1株も数	圃場判定	いもの外観	いもの皮色	センチュウ抵抗性 ネコブネグサレ	萌芽性	貯蔵性
標準栽培(マルチ無し) (植付: 5月9日 掘取: 10月8日 施肥量標準)																		
九州181号	270	333	121	36.7	122	128	23.9	80	139	97	217	4.0	やや良	やや上	橙	強	やや強	やや良 (易)
標準 コガネセンガン	145	277	100	34.4	95	100	20.7	57	100	96	214	3.4	やや良	中	黄白	やや弱	やや弱	中 やや良(中)
比較 シロユタカ	168	279	101	35.1	98	103	23.3	65	114	96	189	4.0	中	やや下	白(紅)	強	やや強	やや良 やや良(易)
比較 ダイチノユメ	333	336	122	37.9	128	134	24.3	82	143	97	187	4.8	やや良	やや上	白(紅)	強	やや強	良 易
比較 サツママサリ	350	310	112	38.1	118	124	23.7	73	128	97	205	4.0	やや良	やや上	黄白	強	中	中 易
長期栽培(透明マルチ) (植付: 4月17日 掘取: 11月5日 施肥量200%)																		
九州181号		672	136	36.5	245	144	25.5	172	147	99	512	4.5	やや良	やや上	黄褐			
標準 コガネセンガン		495	100	34.5	171	100	23.5	116	100	99	347	5.0	やや良	中	黄白			
比較 シロユタカ		509	103	33.8	172	101	23.4	119	102	99	370	5.4	中	中	白(紅)			
比較 ダイチノユメ		510	103	36.9	188	110	24.9	127	109	99	362	5.1	やや良	やや上	白(紅)			
比較 サツママサリ		348	70	35.8	125	73	25.2	88	75	97	221	5.3	中	中	黄白			

注) 貯蔵性評価の括弧内は生産力検定予備試験のデータ
上いも重: 50g以上の塊根重量